

一流のできた職人になる為には、いかに人柄が大事かということを改めて感じました。

課題をしていたころは意識出来ていたこと、頭に残っていたことがかなり薄れてしまっていた事、またこの自粛生活の中で、「自己の成長」ということに重きを置かず、生活をしてきた事、自分が愛弟子を志願したときの覚悟等が薄れてしまっていたことに反省をしました。

とても美意識が高く、意欲的に肌改善に取り組み、自宅でも色々努力して下さっているお客様へ、「本当に改善をしてもらえるのだろうか。」とても期待をし、信頼して下さっているが、その信頼に応える結果を出せるのだろうか。」と恐くなることがあります。ですが、その恐い想いに私はキチンと向き合っていたのだろうか、考えた時、どこか傲慢になっていて、お客様にしつかり寄り添い、誠心誠意向き会えていない部分があるのではと感じました。

それはプロとして、とても無責任な考え、行動であり、自分を成長させることは出来ません。自分の傲慢さから決めつけることなく、もっと探求心を持ち、また自分一人だけでなく、周りの方にも教えて頂き、自分の幅を更に広げ、常に成長する為の行動をしていかなくは、お客様に引き合っていることにはならないと改めて感じました。気を引きしめ、常に謙虚に学ぶ姿勢・また感謝の気持ちを持ち、日ごろの思考・行動を見直してまいります。

また本からは秋山社長からの厳しく、優しい、大きな愛を感じました。

それと同様に、先日の勉強会を通して、先生や社長からの大きな愛を改めて感じました。特に今回のコロナでの一連のご対応を含め、「辛い思いをさせることで、人は学び、それを糧に出来る。今回のコロナはそれを学ぶために絶好のチャンスだった」というお話を伺い、大きな愛と、同時に自分の浅はかも感じました。その大きな愛の中で学ばせて頂き、働かせて頂いている事に感謝の気持ちを忘れず、また求めるのではなく、愛を与える人間になって、少しでも恩返しをしていけるように日々考え、行動して参ります。